

内之浦宇宙空間観測所を訪ねて

2025-4-11

京都市 福原浩一

鹿児島へのサイクリング旅で、JAXA 内之浦宇宙空間観測所を見学してきたので、ご紹介します。

旅の概略

これまで出張や旅で、日本各地を訪ねてきたものの、まだ鹿児島県に足を踏み入れたことがなく、そのうち行ってみたいと思っていたところ、大阪南港から志布志までフェリー「サンフラワー」を使えば行けることを知り、少し暖かくなってきたこの時期に、サイクリング旅をすることにしました。せっかくなので、この機会に JAXA 内之浦宇宙空間観測所に寄り、日本で初の人工衛星打ち上げに成功した、ロケット発射場を見てきました。

自転車ルートは、志布志→内之浦(大隅半島)→錦江町→桜島(フェリー)→鹿児島市→指宿(フェリー)→錦江町→志布志、と錦江湾(鹿児島湾)一周です。

JAXA 内之浦宇宙空間観測所

1962 年に東京大学鹿児島宇宙空間観測所として開設されました。

以来、日本初の人工衛星「おおすみ」、ハレー彗星探査機「さきがけ」「すいせい」、小惑星探査機「初代はやぶさ」をはじめ、400 機近い観測ロケット、科学衛星・探査機の打ち上げを行い、日本の宇宙空間観測の中核を担ってきました。

これからも、次世代のイプシロン S ロケットや観測ロケットの射場として活躍が期待されます。

ロケット関連施設

最も標高の高い衛星ヶ丘展望台には、20m パラボラアンテナが配置され、衛星追跡や制御信号送信など、日々の運用で利用されています。また、見晴らしが良く、各施設を眼下にみられる絶好の展望台です。

右の写真は、イプシロンロケットを発射するミュースターの様子です。この他にも、34m パラボラアンテナのあるテレメーターセンター、観測ロケットを打ち上げる KS センターなど、固体ロケットの組み立て・発射・追跡・運用など、日本で数少ない、フルファンクションのロケット基地となっています。

宇宙科学資料館

ロケットや科学衛星、発射装置の模型や、日本初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げで使用した本物の発射管制卓などが展示されています。

玄関に入ると、人工衛星「おおすみ」の模型があり目を引きます。館内は、らせん階段状に展示があり、展示を見ながら階下に進んで行きます。中心には、X線観測衛星「てんま」を打ち上げた、M-3S 型ロケットが展示されていました。また、固体燃料ロケットの方向制御の原理、推進薬の形状や製造方法などが紹介されており、東大宇宙研で培われた日本のロケット技術が、実物とともに展示されていて、ファンにはメッカと言える場所。見学時間の不足が悔やまれます。

おまけ：サンフラワーの旅

久しぶりにフェリーで大阪～鹿児島を往復し、ジェット機や鉄道では味わえない船中 2 泊のゆったりした旅を楽しみました。天候に恵まれ、揺れが少なく船酔せず、レストランでおいしい夕食を堪能。船室は、最安の「ツーリスト」でも、ひとりずつカーテンで仕切られていて快適でした。鹿児島へはフェリーもおすすめです。

